

2022年度　日本工学院専門学校											
建築学科											
測量実習											
対象	2 年次	開講期	前期	区分	必修	種別	実習	時間数	30	単位	1
担当教員	大澤　公仁			実務 経験	有	職種	建築設計／一級建築士				
担当教員紹介											
構造設計事務所にて海外での建設現場における構造設計を担当し、その後は不動産会社において住宅の設計・改修工事に従事した経験を持つ。伝統工法を用いた住宅設計を専門としている。											
授業概要											
配布資料を用いて、講義により基本知識や機械の操作方法を説明する。次に、フィールドで機会の操作を行い、練習の後に試験を行う。最後に、トランシットを用いて閉合トラバースを行い、精度よく測量することを学ぶ。											
到達目標											
レベルは、平行に据え付けることができるようになるため、水準を素早く正確に合わせられるようになることを目標とする。また、測量器具の目盛を正確に読み、水準測量の測定結果をデータとしてまとめる。トランシットは、水準と求心の作業を繰り返し行って、機械を中心となるポイント上に精度よく据え付けることを目標とする。また、閉合トラバースを行い、読み手と測り手が協力しながら精度よく閉合するようにする。											
授業方法											
目標達成のため下記授業内容詳細により授業を展開する。											
成績評価方法											
試験・課題 レポート 平常点	50% 30% 20%	試験と課題を総合的に評価する 授業内容の理解度を確認するために実施する 授業内容の理解度を確認するために実施する									
履修上の注意											
測量するためにはフィールドへ出て実習を行うので、動きやすい服装及び履物で行うこと。また、測量機械は指示された操作以外はせず、機械に振動を与えたり湿気でいためたりしないよう丁寧に扱うこと。電卓は持参のこと。											
教科書教材											
資料を配布											
回数	授業計画										
第1回	レベルの据付（１）　　測量の基礎知識／巻尺、コンベックスの使用方法										
第2回	レベルの据付（２）　　レベルの据付／測量器具の測定方法										
第3回	トランシットの据付（１）　　現地にて高低測量／記録方法										
第4回	トランシットの据付（２）　トランシット据付／整準と求心										
第5回	閉合測量　トランシット　据付試験										

2022年度 日本工学院専門学校	
建築学科	
測量実習	
第6回	距離測量 閉合トラバース測量
第7回	総合補習（１） 測量作業の技術向上
第8回	総合補習（２） 測量作業の技術向上